の元に注意しましょ



(毎月1日・16日 2回発行) 一部 2円 葉県我孫子町役場 第 57 号 干 電 話 (あびこ) 代表 42 番 昭和34年7月30日第三種郵便物認可



おもなる記事

- 2 面…県道の現況と予定工事 沼べり
- 4 面…出初式
- 5 面…第一回臨時議会 世界農林菜センサス 米の通帳取替え 現金扱いは間違いのもと
- 6 面…おめでた, おくやみ 贈与税は申告制 職員募集公告 汲み取り、ごみ取り日程表

(根戸地先の道路)

へ入る手前の左側の砂利道 すぐに利用される。高野山

手賀沼架橋が完成すれば

りとなつている。一日も早

く架橋してとの道路が脚光 は完成して架橋を待つばか

過 V, ぎし二月かな の麦 Ø

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日付	
火	月	В	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	曜	月
広報第五八号 発行	歌員募集メ切日(1日から)			育児相談日(午後一時)	·l	業者支払日				-	立春	節分		布佐支所にて業者支払	湖北支所にて業者支払世界農林業センサス調査日 広報五七号 発行	記事	のこよみ

ح 広 ぴ あ

ないがここに約千二百米のため道路の両側が非常に汚

側溝が今年度中に完成され

つ、舗装道路に側溝のないだけのこととビ割れが目立ていても、大きな穴がない

変りはない。舗装こそされ ずる重要幹線であることに

市の田中、流山、野田へ通られた形となつてこるが柏

国道が走つたために、忘れ

先の道路は、その裏側へ新昔の国道であつた根戸地

活も台なしである。 ないような道路では文化生 の厄介にならなければなら 時一歩外へ出ればゴム長靴

れて文化生活を営んでいる **に電化製品が大きく導入さ**

舗装工事や側溝工事、改修工事を尋ねながら、本町地先の県道がどのよう

な現状にあるか、西から東へ紹介してみよう。

情しきりであつたところ。 けは埋めたが側溝がない。 は穴だらけの舗装道路で苦 へ入ると、日立精機とゴル る予定である。 このため日立精機の塀の向 入して協力した結果、穴だ ようやく町でローラーを購 いるが、ここも昨年秋まで フ場を案内する看板が出て 東京から米て新国道を右

により解決するであろう。 のせまいのが眼につくが拡 品前から踏切までの予定) 施される側溝工事(千葉食 悲惨な現状も今年度中に実 と床下浸水を見るという、い側にある家は大雨が降る 我孫子の宿に入ると道路

実施される予定である。 中に約三百米の側溝工事が 滞がないが、ここも今年度 登記所附近の道路にも側 ことであり、その節は地元 けに早急に実施して欲しい りの拡張は、手賀沼に観光 張するにしても相当の経費 の協力を切にお願いする。 施設を誘致している矢先だ に譲ることとして、駅前通 こともありこれは時の解決 を要するし、家屋移転等の



(改修中の都部地先)

容赦を乞う次第である。

道路をよくしたいために書 る方があるかも知れないが あの記事を読んで気になさ な道路を解消して欲しい。 ならなければならないよう ないのにゴム長靴の厄介に でも一日も早く雨の日でも 陳情でも請願でも何をして を始め町議会議員の方方は

たものであるから平にど

(.2)

布佐舗装工事はぼ完成 約二十七籽、県下一悪いと云はれる道路であるが最近地元の強い要請によ り局部的に舗装や側溝工率がなされている現状である。これから行はれる 柏市との境の根戸地先から、印西町との境の布佐三町目地先までの県道 改修 工事 など 進 行

からゴルフ場入口まで、 ところである我孫子中学校 を浴びる日を祈願する。 この街道で一番さみしい

> るという、この会社の発起ターボートを手賀沼に浮べ るものは、東京タワーに似地を作るという。その最た このような施設ができて本 三十九年オリンピツクの前 名をつらねている。この投 社長などお歴々が二十数名 前東京都知事、京成電鉄のビール社長、後楽園社長、 人は、東武鉄道社長、 又との三市町村を結ぶモー かないものを作るという。 た大展望台で日本に一つし ニーラウンド式の一大遊園 を結んでアメリカのデイズ 社が、柏市、沼南村、 ば手賀沼観光KKという会 あるが、聞くところによれ 例を職会において審議中で しようとして、企業誘致条 ▼手賀沿へ観光施設を誘致 よりである。何はともあれ の年までにと予定している 資額二十億円、竣工は昭和 日本 本町

道路とは云えない。各家庭 どうひいき目に見てもよい

紀行して ら東へと 望んでい みたが、 を尋ねな 改修工事 先の県道 る本町地

欠ぼとだけはなくなつてい

事が実施される予定である 年度中に一二〇米の舗装工

湖北支所附近の下水が水

とであろう、昨年の補修で



号 道) \mathbf{K}

は今年度中に行われる子定 前附近一二〇米の改修工事 は別に改修工事を考慮中で 尋ねたところ「県でもここ どうするのだ」と建設課に て貰いたい。「この街道で

ある」と云う。気象送信所

派になつた」と口から出る び込んでくる。思はず「立

である)

たのは本年三月までの予定

(との中で今年度中と書い

元副団長

/ 我副支団長

飯田 增田大太郎 小熊

> ◎防火ポスター表彰 団体 高野山消防後接会

前号掲載のため省略

◎退職役員町長感謝状贈呈

信号手養成

篠宮 信次 山田亀太郎 海老原善

たんたる舗装道路が眼に飛

を目前にした布佐宿のたん

との手記を終る。 も早く訪れんことを顔つて 路が全町にわたる日の一日

高台の坂を下ると、竣工

するであろう。

いことが原因のようだ、と せまくなつたような感じを の工事は来年度に計画され この改修と都部地先の残り 受ける。畠原から入つたせ いもあるが道路自体がせま 湖北駅前通り舗装もなけ

> だけでもおろしたらどうだ 立木のトンネルの一部の枝

> > る。

月十六日以来今日(二

信所前まで大雨にあつたよ

う。長福寺附近の道路一二 らある程度ここの県道は日 の目を見る事ができるだろ ろうか又南側の木が伐れた

たくなるような道である。

予定である。

布佐三町目地先の側溝工

装工事が今年度に行われる

一刻も早く改修工事を施し 「番悪いところはここだが

れはひどい」と顔をしかめ うな道が続いている。「こ **うのに沖田の坂から気象送** 十五日)まで雨がないとい

これが完成した晩は、冬で の伐採という大工事であり 中であり、家の移転と立木 も草履で歩ける道路が完成 事は拡張と側溝を現在実施 て) 五五〇米の道路改修工 都部地先まで(一部を残し て中峠に入ると道路が急に 岡発戸の坂を上つてから 昨年改修した畠原を過ぎ

が災いしているとしたら、 を作つても排水を最後まで 思い出した。舗装して側溝 を見ていたら、この附近一 道が悪くなるのもこの立木 孫であるかも知れないが、 とは先祖に対して不孝な子 考へてやつて貰いたいもの 二〇米が舗装されることを 域まで侵そうとしている姿 を満々とたたえて道路の領 先祖伝来の立木を伐るこ



(布佐宿の舗装道路)



(立木のトンネル道路)



(沖田坂下の道路)

(4)

元

事が行われる予定である。 残部は来年度に継続してT よい。今年度は五四〇米、 とあわせて、一二〇米の舗 ほどで歩いていても気持が 布佐駅前通りは側溝工事

てもせめて布佐宿の舗装道 これほどよい道にならなく 本町の北側を走つているが 路が坂こそあれ大体直線に るとコンクリート舗装の道 事として予定されている。 事二四○米も今年度中の工 一方六号国道に限を転す

び

広 報 下へ部隊は移動した。放水 は五台の自動車ポンプと可 り、放水式場の楚人冠公園 を先頭にして街頭行進に入 第一分団の三輪消防ポンプ りであつた。続いて我孫子 び感謝状贈呈者は次のとお 新たにした。当日の表彰及 ねることができると感銘を の生命と財産を安心して委 越総指揮の号令に、整々堂 校庭一パイに響きわたる村 分列行進へと一糸乱れず、 々と展開できたことは町民

搬動力ポンプ十三台を集め 我二 我一分団長 布二分団長 副支団長 我十分団長

布二・

消防一般

具点検、ポンプ操法、小隊 教練に、中隊教練を加えて ほど、元気一パイの演技を であつた。当日の出動団員 を発揮するための絶好の日 消防団の日頃の訓練の成果 は、好天候に恵まれて本町 展開した。服装点検から器 いのではないかと思われる 席を得て我中の校庭がせま 五百名、百名近い来賓の臨 去る一月十一日の出初式 防法への智識向上とたゆま 当日の町長の式辞にもあつ 出初式が滞りなく終了した ◎知事功労表彰 **ぬ訓練が必要である。より** から常設消防に前進するに 代の要求により、常備消防 **うものである。** なく、よろしくご指導を願 要であることは云うまでも しても、団員各位の近代消 たように、本町消防団が時 一層の町民各位の協力が必

支団長 日立副分団長 松本 ◎知事精勤表彰 副団長 ◎県協会長精勤表彰 ◎県協会長功労表彰 副支団長 副支団長 家田 飯田 日暮 中野与志夫 増田 新太郎 新 光男 久雄 芳郎 政男

> 我一分団長 ◎郡支部長表彰 消防団長妻

小山

志水

一夫

海老原一雄

湖四 湖三 我七

かつ

我十一〃 我五 〃 我四分団長

秀信 我部長 我支本部員 ◎町長表彰 湖七

布四分団長 布副支団長 我九分団長 松本 新掘 石川 後藤高之助 正之 Œ 〃我六 〃我五 〃 元我 三分団長

◎福祉事務所長表彰

元布一〃 〃湖七〃 ル湖三ル 〃我八 〃我七 ル湖五ル ル湖四ヶ 〃布三〃 /湖二/ 湖一分団長 元湖副支団長 〃我十一〃

中村栄太郎 海老原忠道

○一般協力者表彰 平川 深山 石井 増 田 田 増田 海老原 島田 染谷 荒井 訓男 政美



庭

(村越総指揮官)

て水の祭典を挙げ午後一時

(放 水 式)

湖副分団長

源吉

海老原 中野 今井

飯塚 文雄 中尾金次郎 香取庫之助

湖部長 湖五分団長 我班長 我部長

我二分団長

大井 飯田 小池 渡辺 井上

阳

根本

喜 征三

渡辺勘一郎

力三郎

海老原久弥

豊島 長吉 鈴木正二郎

桜井

幸雄

増田 染谷 田口

番地在住、大正元年八月 芝浦製糖KK嘱託 業、布佐中学校PTA会長 日生、早稲田大学政経科卒 (吉植三郎氏) 布佐七四三

○農林業を伸ばし、農家の

||月|日から本調

通帳になりますから次に

二月分から新しい米の

お知らせいたします より取替えて下さるよう センサ

ス

米の通帳取替え

をつくる一○年に一回の農山村を築くための統計 くらしをよくし、明るい

査員がお訪ねしたときはなつておりますから、調

場月

所

各配給所

旧通帳と印章特象

日 一月三十日から

以外の目的に使用するこ

ありま」のことを教えて

ください。

▼昭和三十四年度町営住宅 に更止した(原案可決) 額百七十万円を百五十万円 によりさきに議決した起債 ▼企業誘致条例の制定 借入先(郵政省)の都合 起債額更正について

○またこの調査は世界一○

調査です。

う国際的な調査でもあり ○余カ国の国々と共に行

区

名

報

〇今回のセンサスはすべて の世帯や事業所について 切な調査です。 いう意味からも極めて大 孫子町の統計をつくると 調査されますので、当我

の発展を期して、ここに工

本町の経済振興と観光面

場又は観光施設等を大いに

誘致しようとするためこの

現金扱いは

〇ですから農業を行ったり 思います。

だいておりますが中には現

金で渡している方があると

て手数料をお払いしていた

はタバコやさんで券を買つ

現在汲取り及びゴミ取り

間違のもと

昭和35年2月1日発行

○この調査は統計法による 指定統計として行われま すので、調査した結果を 業体の皆様のご協力をえ 林業を行つているすべて 他人にもらしたり、統計 立派な調査を行いたいと て、わが我孫子町でも、 の世帯や会社その他の事

(5)

今後お手数でも券を購入し

て絶対に現金で渡さないよ ろと間違いのもとですので のことです。これはいろい

うにお願い致します。

我孫

野

町区区区下一区子町区山区区台下二区一区下崎戸下

戸の

◇お誕生おめてとう◇ 篠成山肥品三讃佐八渡鈴渡平金森中鈴岩阿岩今小墳 田嶋本後田井井藤楠辺木辺川谷田沢木立部立井池田 美 久裕美扶八 久 み恵 智重清憲冬保慎則代美仁幸智美重昭和博恵美照と美 明樹治一樹宏一子子鈴子多代子子弘宏行子子幸り子 父 (母) 四芳清貴茂保秀 主銀昭多光保清昭敏富正高茂 祺 喜 郎男正典夫親夫博計一助男三美一典夫成吾司雄夫勇 赤ちやん (十二月扱) 一九七根十一東栄三高三一と根十九十一根柴下根

き_戸っ わ^戸の

_ の

戸 ケ戸

広

植三郎氏(布佐)を同意可 つた川村敏郎氏(根戸)が のでその後任委員として吉 ▼教育委員の任命の同意に おりである。 (出席二十八 たその会議の経過は次のと 役場会議室において開催し 名欠席二名 参与十一名) から議会第一回臨時議会が 身上の都合で辞任された 去る一月五日教育長であ 去る一月二十日午前九時

決を求めたものである 本 が和解の衝に立つことの談 健司間の建物収去土地明渡 案は次の議会までに(我孫 し等請求事件について 町 原告中山元司 被告川村 世界農林業

一回臨時議会 ▼裁判上の和解について のである。本条例について るよう付託した。 は総務委員会に継続審査す 条例を制定しようとしたも

送付) のである(採択して町長に ボンプ(五馬力可搬動力) ▼第三小学校校舎改築促進 善して欲しいと請願したも を三輪消防ポンプ程度に改

長に送付) たものである(採択して町 施設をして欲しいと陳情し 室、音楽室、理科室などの 旧校舎の改築と学校図書 に関する陳情

▼消防装備の改善方に関す 査を付託した。 委員会を構成して)継続審 子中学校敷地問題調査特別 る請願

教育委員に吉植氏

請願など二件採択

第

我孫子八分団(根戸)の 湖一分団班長 日立分団 郡司 我十一分団班長寺島 湖五副分団長 我八分団員 我三分団員 我二分団班長 我七副分団長 我一分団員 ◎団長表彰 鈴木

湖六分団班長 布二分団班長 布四副分団長 布二分団員 湖七分団班長 長島 五郎 海老原貴一 鈴木 小川 千太 義雌 喜富

(四頁から)

(6)

贈与税は申告制

勝政忠

二月中に税務

署

ごみ取り日程実 角日 汲み取り日程表 2.14 6区, 2区, 3区, 4区 城山,小暮,2区,3区,4区 8区,5区,17区 15 5区,8区,17区 14区,11区1~2,10区,栄町 16 9区,10区 栄町,14区,11区~1の一部 9区,13区,12区,1区, 舟戸 17 11区~1の一部,11区~2の一部.小暮 2区,3区,4区 19 11区2一部,12区 15区,7区,6区 20 東我孫子,下ヶ戸 布佐,湖北,東我孫子

柴崎,城山 城山,小暮,2区,3区,4区 23 湖北 8区,5区,17区 14区,11区1~2,10区,栄町 24 25 布佐 9区,13区,12区,1区,舟戸 2区,3区,4区 26 27 舟戸,根戸下,南飯塚 15区,7区,6区 28 1区, 布佐,湖北,東我孫子 29 7区,15区 城山,小暮,2区,3区,4区

び あ 日から末日まで自ら申告し 実のあつた方は来る二月一 ります。期限後に調査など て納税することになつてお 申告納税でありこれらの事

> ○資格 ◎申込その他待週等につ 三号をご参照下さい。なては「広報あびこ」五十 生れの六ヶ月以上本町に で昭和九年一月一日以降 新制高校卒業以上の男子 務課にお尋ね下さい。 在住するもの

ح 田、畑、宅地、山林、立木に二十万円を超える資産「 申告して下さい。贈与税は つた方も課税されますから もらう場合なども)三十三 も贈与税が課されます。(夫などから援助された場合 場合には現物贈与は勿論の 家屋(新増築)株式出資(各十万円を超える贈与があ 年と三十四年に同一人から 取得したり債務を弁済して 時価より著しく低い価額で こと取得資金について親、 名義変更など」を取得した 含む)車輌、事業の開業、 法人設立又は増資の場合も 昨年一月から十二月まで

◎第一次試験 〇受付期間 二月二十一日 職員募集公告 二月一日から十五日まで

延納や分割納付もできませめなくてはなりませんし、 算税や利子税など余分に納 の結果で課税されますと加 意してありますから遠慮な 書、申告書は資産税係に用んのでど注意下さい。説明 く申し出て下さい。

武初幸博正 勝賢

区区区区区区区大木峠峠里里暮

(松戸税務署)

後岩高斉板井宮寺深吉染越鈴向 ▲謹しみてお悔み申します ▼(十一月十二月扱) 等夫彦江子光人志雄子代夫子夫 見茂志江雄善郎清也次熙雄男夫 布布布布布布新新中中中中小 佐佐佐佐佐佐佐 二五六六八六九

の 名 届出人の名 区

伊石篠伊立石增阿根大油高小矢荒染永中渋小山鈴森川大斉酒海增栗植鈴山渡桝中成塚井鈴大 故 人 う栄も子郎志ん吉蔵郎二ぶく蔵夫代作孝キ助吉助次も一実志基栄よ吉さ幹郎か太吉い 梅 虎重為豊秀沢イ幸新 遊一蔵次雄男ネーー まさま 新俊 幸清イ市し靖逸喜政富 昭一正八幸志 幸竹政直 虎乳 大 佐 三 十 さだす守甫治夫益七郎子雄げ郎次久一郎保吾之次八治つ勇太夫美人晃収雄・ 布布布布布布古古中中上下下九八八六柴根九青四久十布布古日日古三根十岡八青十柴根栄柴 寺三 佐佐 五二 佐佐佐佐佐佐 _ の 戸の発 峠峠新新ケ 戸 戸 八九五九二五 区区区区区区戸戸下下木木戸区区区区崎下区山区家区区区戸秀秀戸区中一戸区山一崎下町崎 名

133